

# 渋沢栄一展

— 渋沢栄一の遺したもの、その発展 —

2021/8/5

新一万円の顔であり、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の主演など、約500社の民間企業に携わり、約600社にも上る教育機関・社会公共事業にも関わるなど、

## 「日本資本主義の父」と呼ばれる**渋沢栄一**

渋沢の遺した教えや考え方は現代の時代においての道標であり、まさに今の時代において最も必要とされる人物です。

この度、渋沢をテーマにした展覧会

## 『**渋沢栄一展** — 渋沢栄一の遺したもの、その発展 —』

が、**和光6階ホール**(銀座4丁目5-11)にて、**8月11日(水)～22日(日)**の12日間にかけて開催されます。(10:30～19:00 最終日のみ17:00閉場)

渋沢が関連した企業は銀行や金融、交通、通信など数多くございますが、意外にも実際に“モノ”を作り、今も継続している企業はほとんどありません。この展覧会では、渋沢に関連する資料の展示だけではなく、**関連・継承した企業が今まさにどのように発展しているかを実際の“モノ”に触れていただき**、渋沢の遺した功績を感じていただく展覧会になります。

その“モノ”の一つに「**帽子**」があります。

日本初の製帽会社は渋沢栄一が創業し、そのブランドである<トーカーハット>の帽子は**渋沢栄一が愛した“モノ”の一つ**です。この展覧会では渋沢栄一が愛した帽子にもフォーカスし、その時代背景や渋沢栄一が愛した山高帽子などを展示しております。



渋沢栄一が愛した「山高帽 (ポローラーハット)」税込¥63,800

その他に渋沢が関連した「紙」。

渋沢が日本初の洋紙会社「抄紙会社」（現 王子ホールディングス株式会社）を創業し、今もなお製紙業の中心を担う企業です。この紙を発展させたかみのいと<OJO+（オージョ）>と<トーキョーハット>の帽子が渋沢関連企業の異業種コラボレーションとして実現し、この展覧会で実際に体験・購入いただけます。



左：かみのいと OJO+（オージョ） 右：「和光別注 OJO+バケットハット」税込¥16,500

また実家の家業である「藍」。この藍をテーマにした資料や実際に触れていただく“モノ”もご用意しております。更に“モノ”だけではなく、渋沢ゆかりのそれぞれの分野の専門家による「ギャラリートーク」も日替わりで開催いたします。（事前予約制）

ギャラリートークでは、渋沢の人物像や銀座との関わり、そして和光の創業者 服部金太郎との関係性など、非常に魅力的なテーマをご用意しております。（全23講演）  
※渋沢本人の当時の貴重映像もご覧いただけます。

この機会にぜひ渋沢栄一が遺した功績や“モノ”に触れてみてはいかがでしょうか。

営業時間および催事は予告なしに変更する場合がございます。最新の情報は和光のホームページ（<https://www.wako.co.jp/exhibitions/806>）をご覧ください。

【この件に関するお問い合わせ先】

オーロラ株式会社 広報宣伝室 山本  
080-4835-4954  
[y-yamamoto@aurora-accent.co.jp](mailto:y-yamamoto@aurora-accent.co.jp)

【読者お問い合わせ先】

オーロラ株式会社 お客様相談室  
0120-527-559  
[info@aurora-accent.co.jp](mailto:info@aurora-accent.co.jp)